

# DAWN 通信

第13号

2012. 4

## ★特集

平成 24 年度の事業展開  
このような事業を展開していきます ②

■ 一般財団法人に移行しました  
～ 19 年目の再スタートにご支援を～ ①

■ 講座・イベントのご案内 ④

■ ピックアップ ⑤

■ 新運営体制／賛助会員ご紹介 ⑥

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団は「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から、多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します。

## 一般財団法人に移行しました

### ～ 19 年目の再スタートにご支援を～

財団はこの4月、名称と組織を「一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団」に改め、再スタートしました。国の公益法人制度改革に伴い、従来の「財団法人」から「一般財団法人」に移行したもので、女性も男性も生きやすい男女共同参画社会づくりに一層役立つ法人になっていくよう、職員こぞってチャレンジしてまいります。

新しい財団運営の基本的な考え方は次の通りです。

- 男女共同参画社会の実現を目指し、社会に必要とされる非営利法人として継続していく。
- 職員のノウハウとネットワークを次世代に継承、発展させ、社会の変化とニーズに応じて、課題解決につながる事業を展開する。
- ともに運営を受託している大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）と東大阪市立男女共同参画センター（イコーラム）の機能を一層高める。
- 経営基盤を安定させるために、大阪府をはじめ公の事業を重点に競争入札や提案プロポーザルによる受託を目指すとともに、ファンドレイジング（財源獲得）の態勢を整えて多様な収入源を開拓していく。

公益法人制度改革は、民間非営利活動の健全な発展を図るのが目的で、従来からの財団法人を継続するには、「一般財団法人」か「公益財団法人」のどちらかに移行しなければなりません。私たちの財団は、さまざまな点から検討した結果、「公益」に比べて柔軟に運営できる「一般」の道を選びました。

財団は、設立から17年目の平成22(2010)年4月、大阪府の財政再建プログラム(案)によって、大阪府の補助金に一切頼らない自立化法人に変わりました。男女共同参画の実現を願う多くの方のご支援のもとに活動範囲を広げ、職員一丸となってその試練に立ち向かった結果、イコーラムの指定管理業務や国による東日本大震災被災者支援事業など新しい事業を競争入札で受託し、自立化のめどをつけることができました。今回の新法人移行は、設立19年目の春に迎えた再スタートです。みなさんのこれまでも増したご支援、ご協力をお願い申し上げます。

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団  
理事長 時岡禎一郎

# このような事業展開をしていきます！

## ●大阪府からの受託事業

提案プロポーザルにより受託しました。

### ◎ドーンセンター指定管理業務

- ・会議室貸出、施設管理 ・グループ活動支援
- ・一時保育事業の運営 ・視察対応

### ◎女性に関する情報の収集・提供事業

- ・ドーンセンター情報ライブラリーの運営  
開館時間 火～木、土 9:30～17:30  
金 9:30～20:00
- ・ドーンセンターHPの運営
- ・メールマガジンの発行

### ◎啓発講座事業

- ・市町村職員等研修 ・学校教職員研修
- ・企業研修 ・府民対象講座 ・男性対象講座

### ◎相談カウンセリング事業

- ・女性の悩み電話相談  
相談専用電話 06-6937-7800  
火～金 17:00～20:00  
土・日 10:00～16:00
- ・女性のための面接相談（予約制）  
相談事務局 06-6910-8588  
火～金 13:30～18:00  
18:45～21:00  
土・日 9:30～13:00  
13:45～18:00
- ・カウンセラー派遣

### ◎不妊専門相談センター事業

- ・不妊にまつわる電話相談  
相談専用電話 06-6910-8655  
毎週水曜日 10:00～16:00  
(第5週・祝日・年末年始は除く)  
第4土曜日 13:00～16:00  
(4月、8月、12月は除く)
- ・サポート・グループ 5月～3月  
「不妊のこと、話し合ってみませんか」 他
- ・専用HP運営等

### ◎商工労働部雇用推進室委託訓練事業

母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練  
(訓練期間各2ヵ月 2012年5月～2013年2月)

## ●政府及び行政関係機関からの受託事業

大阪府以外の関係機関からも事業を受託します。

<内閣府からの受託事業>

- ◎「平成24年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」

<三重県伊賀市からの受託事業>

- ◎クローバーカレッジⅡ「女性リーダー養成講座」

## ●「はなみずき基金」充当事業

府内在住の女性篤志家から当財団にいただいた寄附金で設置した基金を活用します。

- ◎ドーン・シネマクラブ (3回)

- ◎はなみずき塾 (6回)

- ◎はなみずきキャリア塾(ポッドキャスト) (10回)

- ◎はなみずきキャリア塾(メンタルヘルス編Ⅱ)(10回)

- ◎はなみずきキャリア塾(メンター編) (3コース)

- ◎女性芸術劇場 (時期未定)

- ◎表現ワークショップ (時期未定)

- ◎女性就労希望者支援事業

## ●賛助会費充当事業

賛助会費を活用して事業を実施します。

### ◎相談カウンセリングに関わる人材育成事業

- ・フェミニストカウンセリング専門講座(時期未定)
- ・スーパービジョン講座 (5,7,9月コース)

### ◎広報事業

- ・財団ホームページの運営
- ・ニュースレター『DAWN通信』の発行

### ◎次世代育成事業

- ・インターンシップ・プログラムの実施
- ・新任教員研修の受け入れ
- ・JOBプラザ OSAKA・大阪府若者サポートステーション  
職場体験受け入れ
- ・図書館司書課程実習生受け入れ

行動型！  
理事会

ファンドレイジング

財団組織運営

- ◎評議員会運営
- ◎理事会運営
- ◎人事・経理・総務
- ◎職員研修の実施
- ◎賛助会運営 他

財団アドバイザー

### ●助成金事業

助成金を獲得して事業を実施します。

<「ACC」(在日米国商工会議所 関西支部) 助成 >

- ◎はなみずき塾 (6回)
- ◎はなみずきキャリア塾(ポッドキャスト) (10回)
- ◎はなみずきキャリア塾(メンタルヘルス編Ⅱ)(10回)
- ◎はなみずきキャリア塾(メンター編) (3コース)

### ●共催事業

- ◎研究機関、団体・NPO との共催 他

### ●東大阪市からの受託事業

2011年4月より指定管理者としてイコーラム(東大阪市立男女共同参画センター)の管理運営及び事業を担っています。

#### ◎イコーラムの管理運営

- ・施設設備の維持管理
- ・施設使用許可業務
- ・印刷サービス、視察対応等

#### ◎イコーラム事業

- ・調査研究・啓発事業
- ・情報収集・提供事業
- ・女性のための相談事業
- ・男女共同参画推進講座
- ・一時保育事業
- ・登録団体支援
- ・その他

### ●その他の事業

#### ◎デートDV防止DVD作成

#### ◎被災女性のためのサポート・グループ

- ・4月～9月 基本 第1土曜日

#### ◎大学との連携

- ・近畿大学総合社会学部「キャリアサポートセミナー」  
他

#### ◎情報発信事業

- ・海外女性監督ドキュメンタリー作品の収集・加工・販売
- ・「Women Pioneers ー女性先駆者たち」の販売
- ・ハンドブック、書籍の販売

#### ◎スタディツアー

- ・韓国編 (8月下旬)
- ・東北編 (時期未定)

#### ◎講師派遣、委員等応職

※事業内容・時期等は変更になる場合があります。

## 講座・イベントのご案内

### ① 仕事・キャリア

先着

#### はなみずきキャリア塾 <特別編> メンタルヘルス編Ⅱ



このプログラムでは、働く女性がさまざまなシーンで直面する課題を心理学の視点による講義とワークショップを通して、セルフケアの方法を学びます。

2012年5月～2013年3月 全10回 各回13:30～16:30  
(8月を除く毎月第2土曜日に開催予定)

#### ●5月～6月 <ストレス耐性をつける>

- 5/12 働く女性を襲うストレスに強くなろう
- 6/9 あなたのその考え方がストレス源かも…!?

- 場 所：ドーンセンター 視聴覚スタジオ ほか
- 講 師：安田香珠子(「こころの相談室Woman」心理カウンセラー)
- 対 象：女性 各回50名(定員に達し次第締め切り)
- 受講料：各日2,000円 ※当財団個人賛助会員は10%割引

### ② 市町村職員研修

無料

#### 男女共同参画施策に関わる職員のための研修プログラム

<基礎編>

初めて男女共同参画施策にたずさわる職員が、事業を推進していくための力を形成するための研修講座です。

- 日 時：2012年5月24日(木)～6月14日(木) 全6回  
(6月1日のみ金曜日)
- 場 所：ドーンセンター 大会議室2
- 対 象：配属年数が1年程度の男女共同参画施策担当の行政職員・関係機関及び関連施設の職員
- 定 員：50名
- 受講料：無料

### ③ 仕事・キャリア

無料 抽選

#### 母子家庭のお母さんなどを対象とした職業訓練 パソコン実務習得科(2ヵ月)

“仕事に就きたい!”と考えている母子家庭のお母さんなどを対象に、パソコンの実習としごと準備講座を組み合わせた職業訓練を開催します。

- 日 時：2012年5月2日(水)～7月3日(火)  
10:00～16:25
- 場 所：ドーンセンター
- 対 象：訓練修了後、すぐに就職したいと考える母子家庭のお母さん等
- 定 員：20名(最小催行人数11名)
- 受講料：無料(ただし、テキスト代3,000円)
- 申込方法：住所を管轄するハローワークでご相談の上、お申込みください。
- 一時保育：あり 1歳～就学前(保育料無料、定員15名)
- お問合わせ：府民お問合わせセンター「ピピッとライン」  
☎#8001または06-6910-8001  
商工労働部雇用推進室人材育成課委託訓練グループ  
☎06-6210-9531

※7月、9月、11月、1月にも同コースを開催する予定です。

### ④ 相談・カウンセリングに関わる人材育成事業

先着

#### 女性に対する「対人援助者」のための スーパービジョン講座

- 日 時：2012年5月29日(木)・6月12日(火)・6月19日(火)
- 場 所：ドーンセンター小会議室6
- 対 象：相談窓口・メンタルヘルス支援に関わる職種及び活動をしている方
- 定 員：6名
- 受講料：15,000円

### ⑤ 女性のためのサポート

無料 先着

#### ～東北地方から関西へ来られた女性のみなさんへ～ 故郷のこと、話しませんか

東北地方で被災し関西へ来られた女性のためのサポート・グループを開催します。お茶を飲みながらゆっくりと話しませんか。

- 日 時：2012年4月～9月(第1土曜日に開催)  
10:00～12:00 5月のみ第2土曜日開催
- 場 所：ドーンセンター 中会議室ほか
- ファシリテーター：(ドーンセンターカウンセラーほか)
- 対 象：東北地方から関西に避難されてきた女性 各12名
- 参加費：無料(交通費は財団負担)
- 一時保育：1歳～就学前(無料)
- 申込方法：(一財)大阪府男女共同参画推進財団  
☎06-6910-8588 / ☎06-6910-8615

### ⑥ イコーラム事業

無料

#### ちょこっとレクチャー ビデオな1日

- 「オフサイド・ガールズ」  
(イラン/2006年/92分/字幕つき/監督:ジャファール・パナヒ)
- 日 時：2012年4月22日(日) 10:00～12:30  
14:00～16:30
- 場 所：イコーラム 第1・第2研修室
- 対 象：東大阪市在住・在勤・在学の方40名(当日先着順)
- 参加費：無料
- 一時保育：あり 300円/1人(1才半～就学前幼児)  
定員 各10人(申込先着順、予約締切4月15日)

①②④⑤の講座・イベントに関するお問い合わせは

☎ 06-6910-8615

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 事業担当まで

⑥の講座・イベントに関するお問い合わせは

☎ 072-960-9201

東大阪市立男女共同参画センター・イコーラムまで

## 内閣府「平成24年度 東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業」を受託

東日本大震災の被災地においては、仮設住宅での暮らしや生活不安などのストレスの高まりから、女性がさまざまな不安や悩みを抱え、女性に対する暴力が懸念されています。被災者が本格的な生活再建に直面し始めたことに伴って、相談内容が深刻化し、また件数も増加しつつあります。

内閣府は、平成23年度から、岩手県、宮城県、福島県に震災に関連する女性の悩みや、配偶者等からの暴力・性暴力などの相談事業を実施、当財団は平成23年度に引き続き、24年度の事務局を担うことになりました。ドーンセンターにおける相談カウンセリング事業の経験とネットワークを活かし、全国の関係女性団体、東北地方の女性団体や関係機関と連携を取りながら、女性の力を結集して務めていきたいと思っております。

### 女性の心のケア ホットライン・いわて

通話料無料 岩手県内限定

**0120-240-261**

相談時間 月～日 10時～17時

協力：NPO法人 参画プランニング・いわて  
もりおか女性センター  
社団法人 日本助産師会岩手県支部  
いわて生活協同組合

### 東日本大震災 心の相談ホットライン・みやぎ

通話料無料 宮城県内限定

**0120-933-887**

相談時間 月～金（祝日除く）

8時30分～16時45分

協力：NPO法人 ハーティ仙台 / 気仙沼市

### 女性のための電話相談 ふくしま

通話料無料 全国共通番号

**0120-207-440**

相談時間 月～金（祝日除く）10時～17時

協力：女性の自立を応援する会 / 郡山市

### 平成24年度東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業

【主催】 内閣府 【共催】 岩手県／宮城県／福島県  
【協力団体】 NPO法人 全国女性シェルターネットワーク / NPO法人 日本フェミニストカウンセリング学会  
NPO法人 全国女性会館協議会

## 大阪と東北をつないで

毎日新聞学芸部 編集委員  
一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団理事 畑 律江

この3月、岩手・宮城・福島を駆け足で巡った。内閣府男女共同参画局が実施した「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力（集中）相談事業」の現場を訪ねるためだ。2月11日から3月末にかけて行なわれたこの事業、事務局を担当したのは、何と大阪府男女共同参画推進財団である。私は、各相談拠点を巡る財団スタッフの仕事を取材させてもらったのだが、どこでも地元の女性たちから「遠くからご苦労様です」と温かいねぎらいの声が掛けられていたのが印象深かった。

震災から1年以上が過ぎた。だが被災地の仮設住宅や転居先での生活は、家庭内トラブルや、女性の不安・ストレスを深刻化させることが懸念される。内閣府は、そうした事態に対処するため、電話や窓口相談の拠点を、3県で計11カ所に設けたのである。この事業が画期的なのは、多くの拠点で、盛岡の「参画プランニング・いわて」、仙台の「ハーティ仙台」、福島の「女性の自立を応援する会」など、地元の民間女性団体が協力し

た点である。しかも、相談員は地元の約60人に加え、全国組織の4つのNPO——全国女性シェルターネットワーク▽日本フェミニストカウンセリング学会▽全国女性会館協議会▽しんぐるまざあず・ふぉーらむ——が、各地から東北に約150人を派遣した。まさに全国の女性たちの力が結集した感があった。

大阪府男女共同参画推進財団は前知事時代に補助金がゼロとなり、厳しい自立の道を歩み出した。だがそれは同時に、府以外の事業受託に名乗りをあげられるようになったことをも意味する。今回、東北から遠い地に拠点を置くにもかかわらず事務局に選ばれたのは、市町村・NPOとの協働を通して蓄積した調整・事務能力が高く評価されたからに違いない。全国横断的な事業への取り組みは、人のネットワークを広げる意味でも大きな意義がある。

被災地では、職を失ったために荒れる夫との関係や、転校先になじめない子供の問題で悩む女性が目立つ。故郷を去るかどまるかで、地域の間人間関係が分断される例もあると聞く。「被災」は今も続いているのだ。内閣府のこの事業は4月以降も7拠点で継続された。地域を越えた女性たちの連携が、息長い支援の基盤になればと願う。

## 新運営体制

- 【評議員】 尼川 洋子 (人と情報を結ぶWEプロデュース 代表)  
 上田 理恵子 (株式会社マザーネット 代表取締役)  
 高田 昌代 (神戸市看護大学 教授)  
 早瀬 昇 (社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事)  
 松尾 園子 (弁護士)
- 【理事長】 時岡 禎一郎 (学校法人大阪女学院 監事)
- 【業務執行理事】 金光 哲司 (一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 事務局長)
- 【理事】 泉谷 八千代 (NHK奈良放送局 局長)  
 川中 大輔 (シチズンシップ共育企画 代表)  
 白井 文 (グンゼ株式会社 取締役)  
 段林 和江 (弁護士)  
 仁科 あゆ美 (一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 統括ディレクター)  
 畑 律江 (毎日新聞大阪本社 学芸部編集委員)
- 【監事】 田上 時子 (特定非営利活動法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長)  
 林 紀美代 (公認会計士)

(平成24年4月1日現在 50音順)

## 【賛助会員ご紹介】 ご入会・ご継続ありがとうございます。

### 【平成23年度入会状況】

| 会員種別       | 入会件数 | 口数  |
|------------|------|-----|
| 個人会員       | 110名 | 157 |
| 団体会員 (非営利) | 28団体 | 31  |
| 団体会員 (企業)  | 7企業  | 16  |

### 【個人】

|        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 尼川 洋子  | 荒木 美子  | 池田 幸雄  | 石元 清英  |
| 伊田 久美子 | 伊藤 誠   | 内屋 幸治  | 梅澤 知子  |
| 岡田 昌子  | 尾後 裕子  | 梶川 富美子 | 川上 清   |
| 川崎 佳代子 | 北山 博一  | 木山 美佳  | 九門 リリ子 |
| 倉田 清   | 黒瀬 友佳子 | 黒田 昌子  | 伍賀 偕子  |
| 小谷 晴美  | 小松 満貴子 | 三枝 泉   | 志水 紀代子 |
| 清水 由喜  | 正路 怜子  | 鈴木 誠子  | 外川 恵   |
| 竹中 恵美子 | 竹林 克巳  | 田代 眞朱子 | 田中 潤子  |
| 田中 良正  | 谷岡 文香  | 中崎 郁子  | 中村 彰   |
| 夏原 晃子  | 名取 千里  | 西辻 達也  | 橋本 博雅  |
| 服部 道代  | 肥田 和子  | 藤井 三樹生 | 藤田 良和  |
| 二木 洋子  | 淵田 智   | 本多 利子  | 米谷 優子  |
| 馬越 かよ子 | 萬田 久美子 | 溝上 久美子 | 森 栄子   |
| 森 俊江   | 森村 暁子  | 柳井 眞智子 | 山中 紀代子 |
| 山本 隆夫  | 吉岡 重彰  |        |        |

匿名希望 52名

### 【非営利団体】

1 女性会議大阪  
 特定非営利活動法人 生きがい大阪  
 大阪心のサポートセンター  
 大阪難聴児親の会 (あゆみ会)  
 特定非営利活動法人 大阪府中途失聴・難聴者協会  
 オパールネットワーク大阪  
 おんなの目で大阪の街を創る会

カウンセリングニューやあやあ  
 特定非営利活動法人 関西子ども文化協会  
 特定非営利活動法人 グループみこし  
 特定非営利活動法人 心のサポート・ステーション  
 劇団シルバームーン  
 高齢社会をよくする女性の会・大阪  
 国際女性年大阪連絡会  
 特定非営利活動法人 日本交流分析協会 関西支部  
 社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会西日本支部  
 女性グループ 翼  
 女性のエンパワメントをサポートする会  
 浪花勤楽流同好会  
 特定非営利活動法人 ハーティ  
 働く女性の人權センター いこる  
 B P W大阪クラブ  
 特定非営利活動法人 リトミック研究センター/大阪第一支局  
 柳寿会

他4団体

### 【企業】

株式会社 学校事務機センター  
 株式会社 グランビスタ ホテル&リゾート ホテル大阪ベイタワー  
 株式会社ゼロワン  
 株式会社タツミ  
 株式会社三菱電機ビルテクノサービス  
 司法書士事務所 ともえみ

他1社

以上、順不同、敬称略 (2012年3月31日現在)

※2012年3月31日までに会費をご入金いただき、かつ掲載許可を  
 いただいた方のみ掲載しております。

財団に関する最新情報は、ホームページでご案内して  
 います。→ <http://www.ogef.jp>



編集・発行 一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 ニュースレター編集部  
 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49 ドーンセンター  
 TEL: 06-6910-8625 FAX: 06-6910-8624  
 E-mail: info@ogef.jp <http://www.ogef.jp/>

発行日: 平成24(2012)年4月1日